

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
心理実習 1	HSP34-002	選択	2	3	通年 (集中)
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
鈴木 真吾 他	B309	shsuzuki		水曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;公認心理師としての心理実践に係る実習の基礎を修得する。公認心理師の支援の現場の見学を通じて、心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ、多職種連携及び地域連携の実際、公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解を体験的に修得する。</p> <p>&lt;概要&gt;公認心理師に必要な知識・技能の基礎的な理解の上で、心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ、多職種連携及び地域連携の実際、公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解について、現場を見学し、実習指導者又は実習指導教員による指導を受ける。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	<p>学外の各施設にて見学実習を行う。実習生として相応しい社会的マナーの遵守を徹底すること。主体的かつ意欲的に参加することが欠かせない。無断欠席・遅刻は認めない。全参加が必須である。</p>				
教科書	適宜、必要な書籍・資料等を紹介する。				
参考書	適宜、必要な書籍・資料等を紹介する。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	心理に関する支援を要する者に関する知識及び技能の実際について理解できる。			HC(1)、(2)、(3)、(4)、(5)、(6)	
②	心理に関する支援を要する者へのチームアプローチの実際について理解できる。			HC(1)、(2)、(3)、(4)、(5)、(6)	
③	心理支援における多職種連携及び地域連携の実際について理解できる。			HC(1)、(2)、(3)、(4)、(5)、(6)	
④	公認心理師としての職業倫理及び法的義務について実務的に理解できる。			HC(2)、(3)、(4)、(5)、(6)	
⑤				HC(1)、(2)、(3)、(4)、(6)	
⑥					
授 業 計 画					
<ul style="list-style-type: none"> <li>公認心理師法が定める主要5分野のうち、保健医療分野（医療機関）を必須として80時間以上の見学実習を行う。</li> <li>見学実習により、学生が達成すべき行動目標に掲げた内容を具体的かつ实际的に理解して、実践的な学びを深める。</li> <li>各実習先のスケジュールに従い、実習の事前・事後指導とあわせて、その都度、一体的な指導を受ける。</li> <li>実習記録ノートを作成し、提出する。</li> </ul> <p>[実習指導者または実習担当教員による指導内容]</p> <p>実習では、実習生は次に掲げる事項について実習指導者または実習担当教員による指導を受ける。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>オリエンテーション：分野ごとの見学等における実習の目標と内容</li> <li>施設ガイダンス：施設の使命や機能、地域社会に果たす貢献等</li> <li>各分野の見学・参加体験：分野ごとの相違を踏まえた、施設内の見学、専門職カンファレンス、面接（ケース）の陪席等</li> </ol> <p style="text-align: right;">必要時間（単位：時間）： 64 時間</p>					
学 習 課 題 ・ 学 習 時 間					
<p>事前指導：実習記録ノートの作成や学外実習のマナー、守秘義務の厳守等の心得をガイダンス形式で学ぶ</p> <p>事後指導：各施設での実習内容（施設内ガイダンス、見学、カンファレンス参加、ケース陪席）を通して学び、実習記録ノートの共有・添削指導等を前提に、実習の振り返りを個別指導にて行う。</p> <p style="text-align: right;">必要時間（単位：時間）： 16 時間</p>					

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	0	0	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	0	0	20	20
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	10	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	20	20
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	実習記録ノートに記載した内容を評価する。また、実習の取り組み状況および成果等について評価する。				個別にフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	高田 毅、瀧口 綾						
教員の実務経験	鈴木 真吾：臨床心理士また公認心理師として 20 年の臨床経験を有する。 高田 毅：臨床心理士また公認心理師として 16 年の臨床経験を有する。 瀧口 綾：臨床心理士また公認心理師として 23 年の臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	臨床現場での経験に加えて、自身が受けてきた研修・ワークショップ、また心理職及び関連する他職種に対する指導経験（スーパーバイズ、コンサルテーション）での経験を活かして、公認心理師の基本的な知識と技術を統合する手助けを行う。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>公認心理師取得希望者は必ず履修すること。</li> <li>「心理演習 1」の単位取得済みが履修要件であり、あわせて「心理演習 2」の履修も必須とする。</li> <li>2024 年度は、対象学生の入学区分・履修モデルに合わせて、前期開始及び後期開始の 2 回開講する。</li> <li>止むを得ず遅刻・欠席する場合は、しかるべき手順を踏んで対応すること。</li> <li>今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。</li> <li>学外実習を実施するが、実習先及び教員が示す方法を遵守すること。</li> <li>上記、指示に従わない行動をとった場合には受講を認めない。</li> </ul>						